

## 安達朋博と行くクロアチアの旅/レポート (9月21日~28日)

日本クロアチア国交樹立20周年記念として、クロアチアで学んだピアニスト安達朋博氏と共にクロアチアを旅し、現地でピアノコンサートを開催するツアーが無事帰国しました。クロアチアのハイライト、ドブロヴニク、スプリット、トロギール、プリトヴィツェ湖群国立公園、ザグレブ、ナシツェ(コンサート)とモスタルを廻る8日間の旅。安達氏が所属する音楽事務所プラネット・ワイ社と共に企画したツアーですが、コンサート会場となったナシツェでは町をあげて大歓迎をしてくださり、ザグレブから列車で到着した時には、安達氏は勿論、ツアーの参加者全員がVIP級の歓待を受けたとのこと。ナシツェはクロアチアが生んだ女性作曲家ドラ・ペヤチェヴィチゆかりの地であり、ドラの博物館ではドラが使っていたピアノ(1895年)で安達氏が演奏。次に場所を移してコンサート会場へ。会場は、旧ペヤチェヴィチ伯爵邸(現在音楽学校)にある記念ホール。満席の聴衆が、日本人のピアニストの弾くドラを始めとするクロアチアの作曲家の作品に聴き入っていました。最後はナシツェのホテルでのディナー・コンサートと続き、町の人々、日本からのツアー参加者、そしてザグレブからも人々が駆けつけ、大成功を修めたコンサートとなりました。メディアにも取り上げられ、まさに両国の国交樹立年記念に相応しく、今後のよりよい関係を築く上で貴重な文化交流となりました。



ナシツェ博物館内ドラ記念室でピアノを弾く



ナシツェの町に掲示されたコンサートのポスター



ドラのお墓に花束を捧げる



音楽評論家としても著名な池田卓夫氏と



### ドラ・ペヤチェヴィチ (1885-1923)

今年ドラの没後90周年にあたります。クロアチアの伯爵の家に生まれ“ナシツェのプリンセス”と呼ばれていたドラは、優秀なピアニストでした。後、ザグレブ、ドレスデン、ミュンヘンで作曲の勉強をし、クロアチア初の女性作曲家として国では大変有名です。優雅で短い小曲から力強い協奏曲まで、個性的な曲を発表しました。その多くがナシツェで書かれています。



### ナシツェ

首都ザグレブの東約220kmにある人口約2万5千人の歴史ある小町。バロック様式のナシツェ博物館はペヤチェヴィチ伯爵家のマナーハウスだった建物で、クロアチア最初の女性作曲家ドラ・ペヤチェヴィチの記念室もある。ドラはこの地に眠る。13世紀の聖マーティン教会は、クロアチアで唯一保存されているテンプレート騎士団の教会。



コンサート終了後、子供たちにサインを

### 安達朋博氏・コンサート情報

- 10/23(水) 辰巳琢郎が贈る ベーゼンドルファーの歴史 (ピアノ出演) 銀座ヤマハホール
- 12/16(月) 安達朋博クリスマスリサイタル  
渋谷・JZbrat Sound of Tokyo / プラネット・ワイ主催 4,500円 / 03-5988-9316
- 12/18(水) 安達朋博&里アンナ魅惑のクリスマスコンサート  
杉並・浜田山会館 / ミリアラ主催 4,000円 / 03-5378-5690

